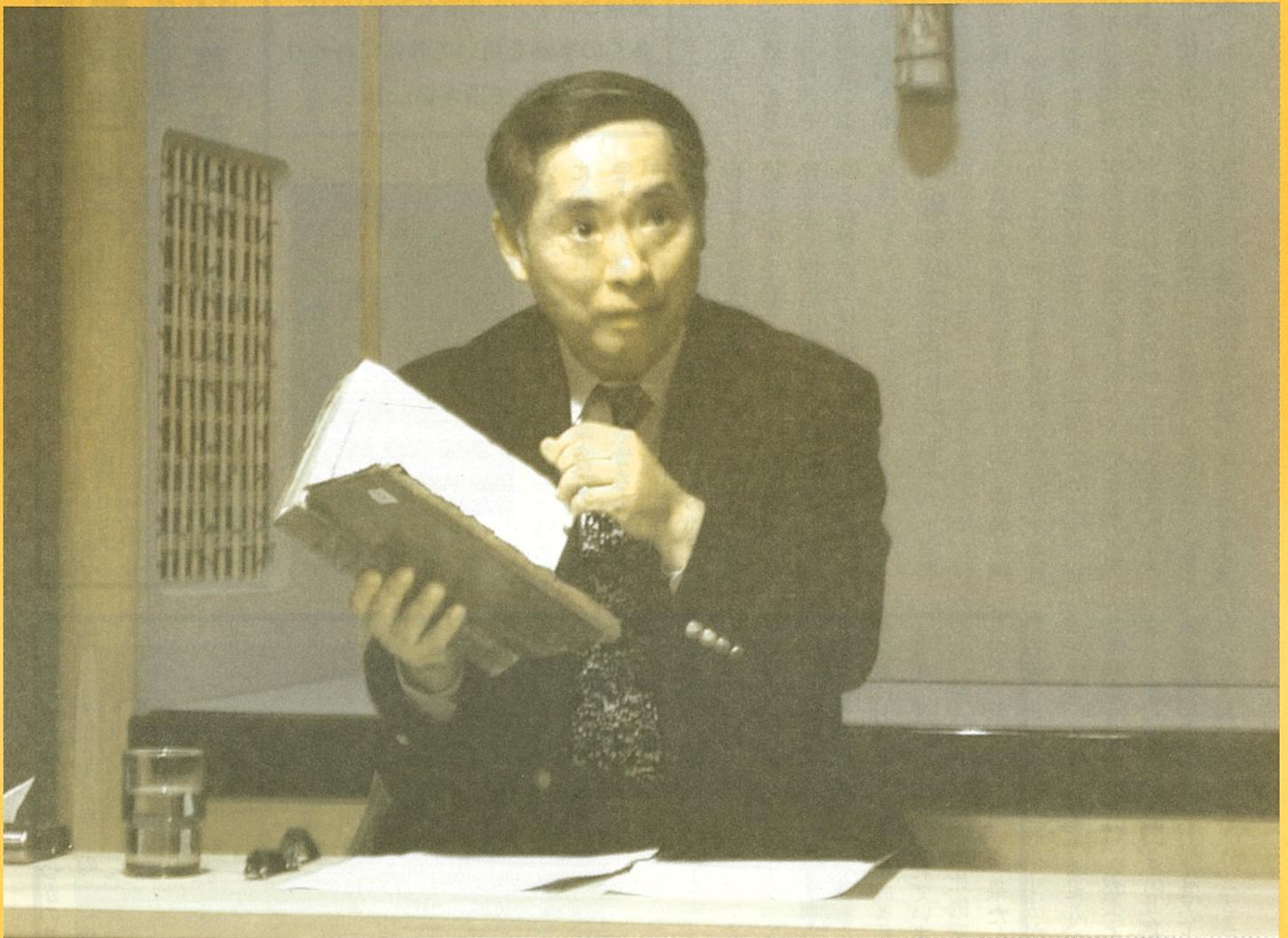


讃岐香川の様々な文化発展を応援します。

文化通心

2001
秋

9月1日発行(季刊)



面影の亡父はみ寺の庭に立ち 萩や芒を友とし給う

夏の一夜、ジェットロ香川貿易情報センター所長の加茂光司さんに、11年に至るフランス滞在での出会いと感動の短歌のご講演をいただきました。和仏対訳の父子歌集「曼珠 MANJU-Perle magnifique-」より一首ご披露があり、父君口伝の詠じ方で奥様の美声が晴松亭に響きました。

特集 あ・うんの数寄講座 第Ⅱ期・第3回【日本建築の真・行・草】齋藤 裕氏
特別寄稿 インターネットと茶会 ～流派の垣根を越えて～ 真ML茶の湯Community
好評連載 美藻庵点描／Oh! 茶Gal／喫茶居
9月から11月までの茶華道・イベント情報を掲載

31

発行・財団法人中條文化振興財団
〒760-0017 高松市番町2丁目1番12号
TEL.(087) 826-3355 FAX.(087) 826-2212

中條文化振興財団学術文化振興特別助成／主催 アトリエSASU

「あ・うんの数寄講座」

第二期・第三回は齋藤裕氏を迎えて

日本文化のエッセンスを探る連続セミナー
平成十二年十一月十八日

【日本建築の真・行・草】茶室の格と見どころを読み解く

今回は本講座の企画・構成を担当された建築家の齋藤裕氏の講演。日本建築全体から見た真行草と、中でも茶室における真行草といったことを、素材の扱いや種類、幾何学やプロポーション、建築の要素とディテールなどを切り口に、多くの事例を用いて非常にわかりやすく解説して頂きました。



建築家 齋藤 裕氏

序

日本独特の文化を培養した芸術、たとえば、茶の湯、能、花といったものと、それが展開された場である建築を理解しようとするときに、「品」や「格」というものは不可欠の要素となってきます。それを表わすのには、「真行草」という言葉がよく引き合いに出されてきました。確かにこれを軸にして考えてみると、日本の芸術、文化というのはわかりやすく見えてきます。そもそも「真行草」というのは、漢字の楷書・行書・草書という三つの字体のあり方を母体にして、日本文化を表わすときの一つの概念として意味をおし広げ

て対応させたものですが、これがいつの間にか多岐にわたる分野にまで浸透していききました。建築の世界では、かなり昔から真行草という概念が確立しています。この建物は真行草の真にする、この部屋は行にする、そのためには材料はこうするといった考え方やルールのようなものが、法隆寺派や四天王寺派といった昔から由緒ある棟梁家では代々受け継がれてきたんです。

基本のプロポーション

真行草の真というのは、円・三角・四角—そこから基本は外れない。必ず単純な幾何学の形がベースになっています。正三角形、正方形といった完結した形では、それぞれの辺の比例は対一です。でも、実際に建築のような複雑なものをつくるときには、一対一だけではデザインできません

ん。そこで、他にもいくつかの基本となる比例を使います。最初の対ルート二というのは、ハガキ、A四サイズやB五サイズといった用紙がこの比例になっていきます。この長方形を半分になると、長辺と短辺の比例はやはり同じになります。用紙として半端が出ずに、効率よく分割できるわけです。

では、黄金比の長方形はというと、縦横の比例が対一、六一八の長方形です。長方形の中に正方形を取ります。残ったところに、また正方形を取っていくというように、ずっと正方形を取っていくことができます。黄金分割というのは、そういうことができる縦と横の比例です。

もう一つは、対ルート三の長方形です。これは斜め二つに分けると、六十度と三十度の三角形ができます。それぞれの辺は、対二対ルート三になります。これらの比例が、プロポーションの基本です。こういう数字の比例を組み合わせてものをつくると美しくなる。あるいは、複雑な形においても秩序が形成されるということが、遠い昔から知られていました。しかし、そういった数字の比例で、その通りつくったからといって、果たしてハガキや名刺、三角定規の形や寸法が美しいかという、そうではありません。ただ、何かを構成するときには、教養として、下地として、こういう数学、比例の法則は古今東西を問わず使われてきたということなんです。

では、例を挙げて見ましょう。日本に入ってきた唐物の青磁の花入れです。「端正な美しさ」と、形容してよいのではないのでしょうか。寸法を測って分析してみると、中央の蕪のところの直径を一とする、上下の直径はそれぞれ二とルート二の比例となります。それ以外の数字はいつさい出てきません。さらに分析を加えると、四五度の三角形と六十度の三角形が、大小の対となって形の中に組み込まれています。非常に整然とした比例で、単純な幾何学が形の中に内包されていることがわかります。こういう唐物道具を、特に北山・東山文化といわれる時代に、真である、もつとも格調高いものであると見なしてきました。そして、いまに生きる私たちも、こういうものを目の前にしたときに、「気品がある」などと、つい口にする。その奥には、こういった比例寸法でつくりだされる形の整合性、プロポーションの秘密—という大袈裟ですが、いふならば教養、それが下敷きになって形が構成されているわけです。

けれども、それは「完全なる形」を求めた唐物だけの話ではないかと思われるかもしれません。ところが、日本の茶の湯、侘びの世界、数学の世界からは一見もつとも遠いと思われるような茶の湯の道具や茶室も、実はこういった比例を守っている。守っているという用語があるのですが、それは一つの教養として、やはり下敷きとしてものがつくられてきたんですね。

利休のプロポーション

利休の茶室と伝えられる待庵や竹の花入、遠州の竹の花入、あるいは、織田有楽の如庵といった茶室は、実際に測って比例を分析していくと、こういう比例のプロポーション、法則以外はほとんど使っていないといっても過言ではありません。それは障子の棧から、窓の竹の節の位置まで徹底されています。茶室というと、錆びたような丸太、竹、天井が蒲だったり葦だったり、泥を塗ったような土壁があったりして、「田舎屋と違うのか」という人がいる。それは全然違うんです。まずもって、つくる意識がまったく違います。適当なところに掘立て柱を立てて、壁を塗り残した下地窓を開けたのかというところ、「そういうふうに見えるようにした」というのであって、実際にはつくり手は企んでつくりあげている。隅々まで寸法を吟味して、割り出した上で構成している。

では、侘びを象徴する利休の竹の花入「夜長」を見てみましょう。まず、上部の窓の高さを一とすると、背の幅も同寸で一对一の正方形となっている。竹筒の直径がそれに対してルート二、下の窓の高さもやはりほぼ同じ寸法でルート二となっています。利休は竹藪に入っただけで、「この竹」と、自分の目に適うものを見いだして切ったのですが、そのあとの作業には、必ずこういう比例の知識をベラスにつくっていると思います。面白いのは、この比例で竹の花入をつくったなら、利休と同じぐらいのものができるといって、そうではない。ここが不思議なところ。そこに、利休の一本の竹を見いだす生かすという鋭い感性がある。

ところで、道具の置き合わせのときに、曲尺割という言葉を使います。畳何目の間で置き合わせるといったことですが、利休と同時代の資料には曲尺割という言葉は出てこないようですね。ようやく文献に出てくるのは、江戸中期の『南方録』です。ですから、利休が実際に『南方録』で伝えられたような曲尺割でやっていたかどうかを証明することはできないのですが、茶室に限ってというと、つまり待庵においては、ある数字の比例で割り出して、つくっていたということが出来ます。たとえば、躰口の敷居の内側から天井までの高さ、躰口から床の間までの距離の比は、一对ルート三になります。障子の組子の割り付けや、床の間の花釘の位置まで、すべてが数学的な比例で割り切れていきます。利休は、他の数字を混ぜて使わないで、一对ルート三の比例だけでここをつくっています。この比例を使って構成すると、非常にすっきりとした形になるんです。こういった数学的な整合性と、この空間に感じる格調というのは、大変深く関わり合っていると思うんですね。建築を構成する一つ一つの要素において、全体としてある秩序をもってまとめあげないことには、格調をつくること、緊張感、あ

るいは、人が心地よくひとときを過ごせる空間というのにはつくれません。利休はかなり正確に数字の比例を出しながら、もとのプロポーションにこだわってつくった人だと思えます。そういうことと、

竹や土といった、未知の要素を含んだ自然物との出会いがあつて、それが数字の整合性と重なり合うことで、美や品格、存在感につながっていくというのが私の見方です。

美藻庵点描 五、

天井



『檜竿をもって天井とし、蓆を承塵とする』とあるように、往古において天井は、竹・枝を十文字に幾本も横たえ、それに蓆をおおったものであつたようである。

茶室の天井は普通、小間では床の間の天井、客間の天井、点前座の天井、あるいは水屋などの天井に分かれる。床の間の天井は、普通鏡板張りとし、点前座は落天井の形式とするが、客座では平天井、掛込天井にすることが多い。いわゆる平天井を真、掛込天井を行、落天井を草とするなど、材料や工作の形式によつて真・行・草の三段階に分けられ、狭い一室の中にも変化のある材料及び工法によつて美的な空間を作り上げている。

美藻庵の天井も同じような構成で作られており、床の間は吉野赤杉の一枚板、客座は黒部杉（竿縁天井）の平天井と吉野赤杉の掛込天井、点前座はマコモの蓆張天井、相伴席は黒部杉を網代に組んだ天井で構成されている。茶席に招かれた折り、道具ばかりに気を取られるのではなく、たまには天井にも目を向けて欲しいものである。

インターネットと茶道

～流派の垣根を越えて～



真ML茶の湯Community 代表 高田裕一氏

真ML茶の湯Community

<http://chajin.net/>

旧弊な価値観に縛られていると思われるがちな茶道界でも、最近では家元や事務局の世代交代も進み、公式ホームページを持つ流派も少なくありません。

けれども、四年前には、茶道に関する情報をインターネット上で得ることなどほとんど不可能でした。その頃、「ネットで茶友と交流したい」「既存のグループがないなら自分たちで作ろう」という単純な発想からひとつのメーリング・リストが立ち上げられました。

茶道を心から愛する人々がネットを通じてつながり、流派、経験などを問わずに幅広く交流することを目的とした茶道専門のコミュニティです。

ここでは、たとえばお茶を習い始めたばかりのひとが、初心者がありがちな、しかし稽古場では尋ねにくい質問をすると、上級のひとたちが自分たちの経験をもとに思いやりに満ちた助言を与えてくれます。あるいは、すでに指導者の立場にある方々

が茶の湯の歴史やその本義についてより観念的な議論を展開したりするのを、初心者たちが敬意をもってじっと拝聴している、そんな光景が日常的に見られます。

もちろんネット上のことですから相手の顔は見えませんが、自ら名乗らない限りは年齢も性別も職業もわかりません。どれほど社会的地位の高いひとであろうと、ここではただの一会員にすぎません。極端なことをいえば、家元であろうと末端の若造であろうと平等でしかありえないシステムなのです。

このようにいつさいの肩書きを排した世界では、むしろひとりひとりの「茶の湯に對する思い」だけが純粋に浮かび上がってきて、それだけが評価や共感の基準になつていきます。おのずと全員が茶の湯に對して真摯な心持ちになるようです。不思議といえは不思議な理想社会といえます。

得てして実社会では、同じ茶道を学んでいるながら流派が違うというだけで疎遠になつてしまいがちなものですが、さまざまなかの流派の人間が集まって話をすると、これほど刺激の面白くもありません。点前の所作や道具の好みなど、流派によって違う部分は多々ありますが、自分の流派だけが正しいと主張する会員は滅多にいません。自分の流派に誇りを持つひとほど、他流派に對する敬意も同等に抱けるようです。言うまでもないことですが、「茶の湯」とは礼節と思いやりを重んずる社交術であつて、そのことに流派の違いはないからです。

行事予定(九月～十一月)

◆十月月釜と茶事

◆名残りの詫びを楽しむ◆

秋の深まりと共に紅葉の便りが届きはじめ山野をいろどる頃、茶つぼに残り少ない茶を名残りつゝ、…というにはいささか早いですすが久しぶりに武者小路千家教授三宅守真宗匠が「名残り」をテーマに、茶事と月釜の釜をかけて下さることになりました。

茶事「夕ざりの茶事」

とき 平成十三年十月五日(金) 午後四時

とき 平成十三年十月六日(土) 午後四時半

茶事「正午の茶事」

とき 平成十三年十月六日(土) 午前十時半

とき 平成十三年十月七日(日) 午前十時半

月釜

とき 平成十三年十月七日(日)

内容 濃茶席 薄茶席 点心席
武者小路千家元教授 三宅守真
守真会・西村純子社中

定員 十八名

席料 八千五百円

茶室ご案内

第一席九時〇〇分 第二席九時五〇分

第三席十時四〇分 第四席十一時三〇分

第五席十二時二〇分 第六席十三時一〇分

第七席十四時〇〇分 各席二時間半の予定です。

直島女文楽の集い

第四回の財団賞を受賞された直島の女文楽の皆様が晴松亭で公演をして下さることになりました。ぜひご参加下さい。

とき 平成十三年十月十四日(日)

第一回 午後一時

第二回 午後三時

演目 寿三番叟

傾城阿波の鳴戸 順礼歌の段

席料 五〇〇円

定員 各四〇名

Oh! 茶Gai!

スペシャル その⑨



今回の茶Gaiはアイパル香川の国際交流員をしているカロリン・クレイさん。フランス人と聞いて言葉の心配をしていたのですが、十五歳まで東京で育ったということで大丈夫でした。彼女はフランスの文化を香川の人たちに知ってもらうための活動していて、この日も海外からの外国指導助手を十数人も案内してきたそうです。ハイスクールからはフランスで学び、就職もした彼女ですが、子供の頃に育った日本の素晴らしさを再発見するために日本に帰ってきて今の仕事を選んだそうです。彼女にとつての「お茶」は「ティー」。お茶席も何度か経験したそうですが、どうしても正座や作法に馴染めなかつたとか。中国茶や紅茶は大好きで毎日楽しんでいるそうです。音楽や美術が大好きで、「自分の感性に合わない物はどうしてもダメ」という彼女、いいお茶席に出会ったら好きになっ

喫茶居(九)

「玉藻公園庭内」

「讃州讃岐の高松さまは、城が見えます波の上」。玉藻城の堀は海水を引き込んで潮の干満によって水位が変わります。潮に紛れ込んだチヌやボラが内堀で大きく育ち、海に戻れなくなつて跳ねているとか。

三の丸の西端に水位の高低を防ぐ水門があり、そこからの見晴らしは、堀を望んで天守閣跡の石垣がそびえ、緑青屋根が美しく映える旧玉藻廟が仰げます。

その一角に、五月から毎週日曜日、赤いもうせんを敷いた腰掛けを出して、野外の茶席が設けられました。

「サンポート高松に集う県内外のお客さまに、ぜひ玉藻公園へお運びいただき、庭園の散策途中にお茶を楽しんでもらいたい」と、ボランティア精神の席主は茶を点ます。気の早いセミの鳴きだした初夏の日曜日、家族連れのかわいい坊やと一緒に、お薄を一服いただきます。



(右頁より続く)

発足当初はコンピュータに馴染みの深い若者が会員には多かつたのですが、インターネットの普及に伴い、このころではかなりご年輩の方や、茶道歴数十年といったベテラン茶人たちも増え、交流の幅はますます広がってきました。会員数が増えるたびにシステムのほうが追いつかなくなり、何度か改変を繰り返した末、このほどついに一千人を超えるに至り、純粋なメーリング・リスト形式からフォーラム形式に変更になりました。

顔の見えない交流ばかりではなく、各種の茶会も地域ごとに開かれています。茶杓や茶碗づくりの講習会などが自発的に開かれることも多く、最近では毎月日本のどこかしらで何かの催しがあるといった状況です。全国の会員が自作した茶杓を持ち寄つて展示会を開いたこともあり、海外の会員と協力してサンフランシスコで各流合同茶会を催したこともあります。

チャレンジ精神旺盛な〈何でもアリ〉の集団ではありますが、決して茶の湯の本義を見失つたり基本的な修養をおろそかにせぬよう切磋琢磨しつつ、この素晴らしい伝統文化を楽しみ続けたいと考えています。

〈真ML茶の湯Community〉での交流については、松村栄子『ひよっこ茶人の玉手箱—インターネットで茶を愉しむ—』(マガジンハウス刊)に詳しいので、ご興味のある方はそちらをお読み下さい。

代表・・高田裕一 (yuchi@chajin.net)

◆十一月月釜

◆晩秋に遊ぶ◆

今月は開炉、皆様からご希望の多かった呼つぎ会の先生方が「晩秋に遊ぶ」と題してこだわりの釜をかけて下さることになりました。深まりゆく実りの秋をお楽しみ下さい。

とき 平成十三年十一月二十三日(金)祭日
 席主 呼つぎ会 裏千家流 新開美智子
 表千家流 美澤 包子

内容 薄茶席 点心席
 武者小路千家流 山地 久子

定員 二十名
 席料 四千五百円
 茶券ご案内

- 第一席 九時〇〇分〜十時四〇分
- 第二席 九時五〇分〜十一時三〇分
- 第三席 十時四〇分〜十二時二〇分
- 第四席 十一時三〇分〜十三時一〇分
- 第五席 十二時二〇分〜十四時〇〇分
- 第六席 十三時一〇分〜十四時五〇分
- 第七席 十四時〇〇分〜十五時四〇分
- 第八席 十四時五〇分〜十六時三〇分

数寄屋と伝統文化(その二)

昨年に引き続き、地唄舞の吉村雄輝園先生の公演を企画致しております。詳細は別途ご案内させて頂きますので楽しみにお待ち下さい。

お申し込み、お問合わせは、当財団事務局まで
 ☎(087)8266・3355
 FAX(087)8269・2212

茶華道ガイド

安部流洗心会四国支部 ☎(0877)86-3442

11/25 家元茶会 広島県神石郡三和町 10:00~15:00 ●
ウインズコートホテル東林苑茶室
JR福山駅よりシャトルバス無料

一茶流一茶庵久松会 ☎(087)885-2322

10/21 一茶庵茶会(抹茶と煎茶) ●
栗林公園掬月亭 1200円 9:00~15:00

裏千家淡交会高松支部 ☎(087)865-7150

9/2 月釜 席主:川地宗寿 天神会館 9:00~16:00 ●
10/7 月釜 席主:塩崎宗代 天神会館 9:00~16:00 ●
10/14 高松市茶華道協会 文化祭協賛茶会 披雲閣 ●
担当:横倉宗翠
11/4 月釜 席主:山本宗佳 天神会館 9:00~16:00 ●

江戸千家白会香川支部 ☎(087)851-5330

9/9 栗林公園月釜月例茶会当番 掬月亭 ●
入園料セット料金 800円 9:00~16:00

小原流高松支部 ☎(087)833-9274

10/13-14 香川芸術フェスティバル2001参加花展 ●
小原流いけばな展 丸亀町レツン 10:00~18:00
「交流と創造-海からの道-海への道」 1・2階
11/4 瀬戸内海歴史博物館特別企画 瀬戸内海歴史博物館 ●
野外いけばなパフォーマンス 10:00~16:00
「五色台は秋いっぱいPartⅢ」

(あいうえお順)

表千家同門会香川県支部 ☎(087)874-0458

10/14 支部記念茶会 ●
総本山善通寺 1000円 9:00~15:00
11/11 表千家流四季茶会 ●
本覚寺別院 500円 9:00~16:00

華道家元池坊香川県連合支部 ☎(0877)22-7203

9/29~30 華道家元池坊讃岐支部展 丸亀市民会館 9:00~17:00 ■
9/29~30 華道家元池坊讃岐支部展 丸亀市民会館 9:00~16:00 ■
11/2~3 丸亀市文化祭各流 丸亀市総合会館 9:00~17:00 ■
11/4 丸亀市文化祭各流 丸亀市総合会館 9:00~16:00 ■
11/14~19 池坊全国大会 京都家元 高島屋 9:00~17:00 ■

香川県観光協会 ☎(087)832-3361

栗林公園掬月亭
入園料セット料金 800円 9:00~16:00
9/9 江戸千家白会香川支部 ●
10/14 三笑亭賞茶流高松仙友会 ●
11/11 安部流先心会四国支部 ●

香川県支部「光彩」観音寺教室 ☎(0875)27-6397

8/29~9/4 細川流盆石展 ホテル弾正2階ロビー 10:00~18:00

琴平町観光課 ☎(0877)75-6710

10/10 金刀比羅宮例大祭奉祝奉賛茶会 ●
琴平町文化会館 200円 10:00~15:00
席主:田中宗武、片桐宗憲、宮武宗隆、上杉宗邦(真千家)
10/10-11 金刀比羅宮例大祭奉納花展 琴平町文化会館2F ■
(池坊・鳳月流・華月流・嵯峨流)

金刀比羅月釜茶道会 ☎(0877)75-4420

9/9 松尾寺月釜 席主:武者小路千家 官休庵 山科タミ子 ●
琴平松尾寺 500円 9:00~16:00
11/14 松尾寺月釜 席主:表千家流 篠原和子 ●
琴平松尾寺 500円 9:00~16:00

草月流麗草会 ☎(087)861-3284

10/28~30 草月流麗草会50周年記念会 ■
JR高松駅イベント会場 10:00~18:00
全日空ホテルクレメント高松1,2Fロビー

静風流 只楽会 ☎(0877)73-2226

11/23 琴平町文化祭(協賛) 静風流煎茶席 ●
アクトことひら 200円 10:00~15:00

玉藻公園管理事務所 ☎(087)851-1521

9/30 石洲流琴松会茶会 披雲閣 ●
10/13-14 秋趣茶会と生け花展(高松市市民文化祭) ●
茶券500円、華券300円 9:00~15:30
茶会 13日担当:武者小路千家 官休庵 頭松会
14日担当:裏千家淡交会
11/11 高松島屋ライオンズクラブ秋の茶会 ●
担当:武者小路千家 官休庵 三好綾子
11/23 香川大学茶道部秋の茶会
11/25 石洲流忌茶会

武者小路千家香川官休会 ☎(087)851-2258

9/2 月釜 席主:高橋 照美 本覚寺 500円 9:00~ ●
10/7 月釜 席主:佐藤はる子 本覚寺 500円 9:00~ ●
11/4 月釜 席主:松下 育代 本覚寺 500円 9:00~ ●

●は有料、■は無料、▲は参加料、★は整理券が必要です。(記号表示は判明したもののみ)

上記予定は変更する場合があります。

イベントガイド

香川県観光振興課 ☎(087)832-3361

10/4~10/8 第18回伝統工芸まつり 栗林公園商工奨励館

香川県県民ホール ☎(087)823-3131

9/8 東宝現代劇公演「花嫁」 13:30~ ●
9/9 第16回日本フルトフェスティバルinかがわ 14:00~ ●
9/21 佐藤しのぶオペラファンタジー「蝶々婦人」 18:30~ ●
9/24 眠れる森の美女 14:00~ ●
10/7 ふるさとに集うハーモニー 14:00~ ●
10/14 第9回香川県琴城流大正琴愛好会演奏会 10:00~ ■
10/21 サントホテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団 14:00~ ●
11/20 市川猿之助歌舞伎 14:00~・18:00~ ●

香川県文化会館 ☎(087)831-1806

10/5 香川県華道選抜秀作展 10:00~ ●
10/6~8 香川県華道選抜秀作展 9:00~ ●
10/20~11/4 寄贈記念 東山魁夷版画展 9:00~ ●
9/15~11/4 館蔵品による鶴政雄とともに歩んだ工芸家たち展 9:00~ ●
11/23~12/0 館蔵品によるイサム・ノグチ展 9:00~ ●

香川県歴史博物館 ☎(087)822-0002

10/20~11/18 香川の名宝展 国宝誕生100年記念 9:30~ ●
9/13~10/14 小豆島の絵師 三木文柳 9:30~ ●
9/13~10/28 水を治める〜西嶋八兵衛〜 9:30~ ●
10/17~12/16 幕末の高松藩 9:30~ ●
10/30~1/27 水辺の祈り 9:30~ ●
10/15~11/25 昔の道具 ~モノにこめられた知恵~ 9:30~ ●
~9/30 新収蔵資料展 9:30~ ●
10/21 講演会 文化財保護の歴史と香川県の文化財 13:30~ ●
9/30 講座 小豆島の絵師 三木文柳 13:30~ ●

菊池寛記念館 ☎(087)861-4502

9/1 文芸講座「東山魁夷の世界」3階第一集会所 13:30~ ■
10/6 文芸講座「句碑めぐり」3階第一集会所 13:30~ ■
11/10 文芸講座「讃岐の女性」3階第一集会所 13:30~ ■

高松市教育委員会文化振興課 ☎(087)839-2636

9/7 デリバリーアーツ「津軽三味線」
綾上町羽床公民館 10:30~ ●
9/7 デリバリーアーツ「津軽三味線」
高松市香西みなみ町集会所 15:30~ ●
9/8 デリバリーアーツ「津軽三味線」
直島町総合福祉センター 12:30~ ●
9/8 デリバリーアーツ「津軽三味線」
高松市仏生山円光寺 18:30~ ●
10/8 第28回高松市市民文化祭オープニング 市民会館 9:30~ ●
10/9~12 秋の趣味文化展 高松市1階 8:30~ ●
10/16~19 とっておきの芸術祭in高松2001 社会福祉総合センター 10:00~ ●
10/20 高松市民演劇祭「曾根崎心中」高松テルサ 13:30~ ●
10/21 三曲演奏会(琴、三弦、尺八) 高松テルサ 13:00~ ●
10/21 壁のない音楽会 ミュースホール 14:00~ ●
10/25~28 第28回高松市市民文化祭美術展 高松市美術館 9:30~ ●
11/3 「地球交響曲」第四番上映会
四国村農村歌舞伎舞台 16:30~ ●

高松市教育委員会文化振興課 ☎(087)839-2636

11/3 吟剣詩舞道大会 市民文化センター 9:00~ ■
11/21 デリバリーアーツ「無声映画」
綾南町滝宮公民館 13:00~ ●
11/22 デリバリーアーツ「無声映画」
高松市屋島源平荘 11:00~ ●

高松市国際交流協会 ☎(087)837-6003

9/2 日本文化体験講座 13:00~15:00 ●
10/21 かがり国際交流フェア サンポート高松

高松市美術館 ☎(087)823-1711

7/27~9/2 日本アニメの飛翔期を探る アニメ・カルチャー展 9:30~ ●
9/21~10/21 池田満寿夫展 9:30~ ●
11/3~12/9 デュフィ展-ポンピドゥーセンター所蔵 9:30~ ●

高松市立市民会館 ☎(087)839-2888

9/3 日光江戸村劇団特別公演 ●
「走れ!龍馬」 14:00~・18:00~ ●
9/20 SADS コンサート 18:30~ ●
9/30 JT将棋日本シリーズ2001 13:00~ ●
10/4 平成13年度 高松市教育文化祭音楽会(小学校) 13:00~ ●
10/6 平成13年度 高松市教育文化祭音楽会(中学校) 12:15~ ●
10/7 石川きゆり コンサート 14:30~ 18:00~ ●
10/14 民謡まつり 12:00~ ●
10/22 御三家メモリアルコンサート2001
14:30~・18:30~ ●
11/21 Coda コンサート 19:00~ ●

高松市歴史資料館 ☎(087)861-4520

8/4~9/16 第27回特別展「怪童中西太展」 9:00~ ●
10/6~11/25 「高松市の111年」 9:00~ ●

高松テルサ ☎(087)844-3511

9/15 香川医科大学管弦楽団 第15回定期演奏会 18:30~ ●
9/16 第25回市民オペラちえいちりあ 18:30~ ●
9/28 Flute Recital 18:30~ ●
9/29 高松市民マンドリンクラブ 第30回定期演奏会 18:30~ ●

玉藻公園管理事務所 ☎(087)851-1521

9/15~17 表具まつり 披雲閣 ●
9/16 菊作り講習会 披雲閣 ●
9/21~11/1 楠木市 二の丸跡 披雲閣 ●
10/8 第28回高松市市民文化祭
世界のお手本を「みて!!作って!!遊ぼう!!」 披雲閣 ●
10/21 第13回水任流雑談会 披雲閣 ●
10/21~11/20 菊花展 二の丸、三の丸跡 披雲閣 ●
10/23 高松農産物組合お茶会 披雲閣 ●
10/24~11/20 第28回高松市市民文化祭
小品盆栽秋季展 披雲閣前 ●
10/27-28 第55回全国レクリエーション大会 披雲閣 ●
11/3 第28回高松市市民文化祭
短歌大会 市民俳句会 柳柳大会 披雲閣 ●

三越高松店 ☎(087)825-0495

9/4~10 現代名僧僧墨蹟展 10:00~ ●
9/11~17 藪内佐司展 10:00~ ●
9/18~24 武蔵一憲作陶展 10:00~ ●
9/18~24 マリリン・モンロー展 10:00~ ●
9/25~10/1 乾繁春油絵展 10:00~ ●
10/2~8 ベルナルドリュッフェ展 10:00~ ●
10/9~15 秋の大版画展 英国絵画特集 10:00~ ●
10/16~29 秋の大版画展 10:00~ ●
10/30~11/5 山内和則 油絵展 10:00~ ●
10/30~11/4 日本工芸会四国支部展 10:00~ ●
11/6~12 美術特選会-絵画特集 10:00~ ●
11/13~19 美術特選会-工芸特集 10:00~ ●
11/20~26 中島憲油絵展 10:00~ ●
11/20~25 香川伝統工芸品展 10:00~ ●
11/27~12/3 現代陶芸展 10:00~ ●

オリフスホール ☎(087)861-0467

9/2 オリフスホール英語スピーチコンテスト ●
9/9 ヤマハティーンズミュージックフェスティバル ●
10/18 「梅ちゃんの真夏の歌」公演 ●

四季ギャラリー ☎(087)822-9010

9/1~9/30 山田尚彦写真展 7:30~ ●
10/1~10/30 小西良之助写真展「バリエーション」 7:30~ ●
11/1~11/30 井川グループ写真展(インド仏跡の旅) 7:30~ ●

セントラルホール ☎(087)833-0005

9/30 「第24回全国高校生の主張香川県大会」 13:00~ ■
NLA実行委員会(867-0414)

10/13-14 「陶芸作品展」 ギャラリー 10:00~ ■
米田 祐(843-3323)

10/22~24、26~28 「美術作品展」百十四銀行OBによる作品展 9:00~ ■
百十四日友会(833-6620)

11/23~25 「ミュージカル「逆襲/SAKAGAMI」」 13:30~・18:30~ ●
劇団銀河鉄道(881-1968)

ヨンデンラザ高松 ☎(087)851-3863

9/1~2 マスコートの花 代表者:三野 倫子 ●
9/11~16 絵手紙作品展 代表者:国長佳代子 ●
9/18~2 なが月会 書展 代表者:永崎恵美子 ●
9/25~30 第6回グループMay展 代表者:鈴木 二郎 ●

ミュースホール ☎(087)833-0013

9/10 リビオン健康講演会 13:00~ ■
11/11 第10回ジョイント・リサイタル 13:00~ ●

イベントガイド

あーとらんど ギャラリー ☎(0877)24-0927

- * 絵画コーナー
- 9/8~30 色と形の仕事一版画・油彩・水彩・ドローイング 10:00~
- 10/6~28 青木野枝 版画とドローイング展 10:00~
- 11/3~25 平和和展 10:00~
- * 工芸コーナー
- 9/1~16 角谷英明 青白磁展 10:00~
- 9/20~10/10 茶道具いろいろ展 10:00~
- 10/13~28 若林集 陶展 10:00~
- 11/3~22 田川赫造展+神原和子染織展 10:00~

庵治町文化協会 ☎(087)871-4162

- 11/2~3 第25回庵治町文化展 町民会館 9:00~
- 11/3 第15回庵治町芸能大会 庵治小体育館 13:00~

綾菊酒造資料館 ☎(087)878-2222

- 昔の手造りの道具、清酒の醸造他見学(予約要)

池田町文化協会 ☎(0879)75-0431

- 10/27 第20回池田町文化発表会 池田町農村環境改善センター 13:00~
- 10/28 第20回池田町文化発表会 池田町農村環境改善センター 9:00~

宇多津町文化協会 ☎(0877)49-8007

- 10/20~21 うたづ秋の文化祭(文化展・いけばな展) 宇多津町保健センター 9:00~
- 11/10~11 うたづ秋の文化祭(芸能祭) ユーブラザうたづ

香川町教育委員会事務局・社会教育課 ☎(087)829-0231

- 9/9 ひょうげ祭り 香川町浅野地区研修センター新池 14:00~
- 10/14 「上妻宏光 三味線ライブ」香川町総合体育館 13:30~
- 11/2~4 ふるさと香川フェスティバル2001 (第26回香川町文化祭) 2日 17:00~3日 9:00~

観音寺市民会館 ☎(0875)23-3939

- 9/1 さあかす 18:00~
- 9/2 日本フルバップ寄席 9:00~
- 9/2 泉の会コンサート 9:00~
- 9/24 宇多津連盟吟道祭 8:00~
- 10/7 演歌まつり 9:00~
- 10/28 アンサンブルフェスティバル2001店別大会 9:00~
- 11/2~4 第51回市民文化祭作品展他 9:00~
- 11/11 第51回市民文化祭日本舞踊 9:00~
- 11/11 ソプラニスト観音寺チャリティバザー 8:00~
- 11/18 第5回観音寺市民音楽祭 9:00~
- 11/25 角笛シルエット劇場公演 8:00~

灸まん美術館 ☎(0877)75-3000

- 9/7~11 ヨーロピアン・チャイナ&トルペイント展 9:00~
- 9/14~18 日本画グループ展 9:00~
- 9/21~25 長尾武美 木彫展 9:00~
- 9/28~10/2 ポーセラーツ作品展 9:00~
- 10/5~10/9 秋山英子ささ織り展 9:00~
- 10/12~16 斎藤幸信・幸枝趣味展 9:00~
- 10/19~23 久土日薫 創作形展 9:00~
- 10/26~30 アンフォルメフラワー アートフラワー展 9:00~
- 11/2~6 第8回 一徳堂 作陶展 9:00~
- 11/9~13 綾西絵画同好会展 9:00~
- 11/16~20 五嶋信幸 陶展 9:00~
- 11/23~27 あいまいみ展 9:00~
- 11/30~12/10 第11回 チャリティ展 9:00~

国分寺町教育委員会事務局 ☎(087)874-5805

- 10/6 国分寺町音の祭り 橋ノ丘総合運動公園 19:30~
- 11/10 国分寺文化祭(文化協会、公民館の作品他) 勤労者体育センター他 9:30~
- 11/11 国分寺文化祭(芸術活動発表等他) 勤労者体育センター他 9:00~

香南町歴史民俗郷土館 ☎(087)879-0717

- 9/11~16 無弦会作品展(書道展) 9:00~
- 9/11~16 拓本展(芭蕉、一茶、西行法師) 9:00~

金刀比羅宮 ☎(0877)75-2121

- 10/9~11 金刀比羅宮例大祭

総合会館アイレックス ☎(0877)86-6800

- 9/24 松竹特別公演「付き馬屋おえん」 14:00~
- 10/11 老人福祉・救護事業振興会 芸能大会 9:00~
- 11/2~3 綾歌町ふるさと祭り 2日 12:00~3日 9:00~
- 11/11 NHK BS じゅんごの自慢 本番 14:00~
- 11/25 綾歌吹奏楽団 第3回定期演奏会 13:30~

坂出教育委員会・社会教育課 ☎(0875)44-5026

- 11/4~11 2001さかいでまるとピアフェスティバル 坂出駅前ギャラリー他 9:00~

坂出市民ホール ☎(0877)45-1505

- 10/7~8 坂出市民芸術祭「民謡・民謡」 9:00~
- 10/13 坂出市民芸術祭「洋楽・市民音楽祭」 13:00~
- 10/14 坂出市民芸術祭「公民館日舞発表会」 10:00~
- 10/21 坂出市民芸術祭「吟詠詩舞踊発表会」 10:00~
- 11/17 坂出創作新舞踊発表会 19:00~
- 11/18 坂出市民芸術祭「三曲合発表会」 13:00~

志度音楽ホール ☎(087)894-1000

- 9/22 第14回志度ふれあいコンサート&芸能大会 10:00~
- 10/7 リトアニア室内管弦楽団公演 19:00~
- 10/13 大川郡教育文化祭音楽祭
- 11/11 志度町民文化祭音楽芸能祭

普通寺市教育委員会 ☎(0877)63-6328

- 10/19~28 第6回大西忠夫展 普通寺市美術館 10:00~
- 第18回普通寺市民文化祭
- 10/31~11/4 美術展 普通寺市美術館 10:00~
- 11/3 郷土芸能大会・獅子舞大会 普通寺伽藍 11:00~
- 11/3 普通寺空海まつり 普通寺伽藍 9:30~
- 11/3~5 生け花 総合会館ロビー 9:00~
- 11/3~5 文芸展・切手展 市民会館2F 9:00~
- 11/3~5 児童生徒作品展 市民会館ロビー 9:00~
- 11/3~5 シルバー人材作品展 市民会館 9:00~
- 11/4 お茶会 総合会館3F 10:00~

普通寺市民会館 ☎(0877)63-7001

- 9/9 市民カラオケ発表会 18:30~
- 10/3 芸術総合体験事業「寄席芸能公演」 18:30~
- 10/7 カラオケ発表会 11:00~
- 10/21 第18回普通寺市民文化祭吟詠大会 12:30~
- 10/27 第18回普通寺市民文化祭合同演奏会 14:00~
- 10/28 第18回普通寺市民文化祭芸能祭 12:00~
- 11/4 第18回普通寺市民文化祭カラオケ大会 18:00~
- 11/11 第18回普通寺市民文化祭民謡(踊)大会 13:00~
- 11/18 第18回普通寺市民文化祭シボウケ大会 13:00~

瀬戸内海歴史民俗資料館 ☎(087)881-4704

- 9/7~24 「重要有形民俗文化財・瀬戸内の船図画」9:00~
- 11/23~3/3 「発掘された農具」 9:00~
- 9/15 講座「図画が語る瀬戸内ふねの歴史」14:00~
- 9/29 講座「民族芸能を見る-お神楽-」14:00~
- 11/10 講演会「瀬戸内と古代の都-平城宮木簡の世界」香川県文化会館 14:00~
- 9/28~11/18 谷本重義氏洋画展、太田昭生、中村進写真展他 9:00~
- 10/14 特別企画「民族芸能公演」 13:30~
- 11/4 「野外いけばな展」 9:00~

高瀬町教育委員会事務局 ☎(0875)73-3009

- 9/8 ファミリーコンサート 高瀬町農村環境改善センター 13:30~
- 11/3 たかせ町民文化祭文化講演会(江戸家小猫) 高瀬町農村環境改善センター 14:00~
- 11/4 たかせ町民文化祭2001 作品展示、芸能発表ほか 高瀬町農村環境改善センター 9:00~

詫間町教育委員会 ☎(0875)83-8809

- 9/2 「花とらしまの里 童話・唱歌コンサート」 詫間マリウエーブ 14:00~

多度津町民会館 ☎(0877)33-3330

- 9/2 普通寺龍神太鼓コンサート 15:00~
- 9/9 尽誠学園高等学校ウィンドオーケストラ部 第6回定期演奏会 14:30~
- 9/16 第18回横田会合同発表会 10:00~
- 10/1 劇団四季ファミリーミュージカル「はだかの王様」18:30~
- 10/14 多度津町秋季講演会 14:00~
- 10/21 菊有徳会 踊りの会(チャリティ) 11:00~
- 11/3 第15回現代イラスト展表彰式 9:00~
- 11/11 第11回アマチュアカラオケ選手権大会 9:00~
- 11/18 南ごせつコンサートツアー2001 ~さあ歌おう~ 16:00~

町立塩江美術館 ☎(087)893-1800

- 9/29 第5回八兵衛茶会 美術館周辺 14:00~
- 10/2~4 「高松大学生涯学習講座作品展」(仮称) 9:00~
- 10/16~11/4 「日仏アートサロン 香川2001」(仮称) 9:00~
- 11/7~12/2 「塩江町文化協会作品展」

とらまる座(大内人形劇場) ☎(0879)25-0400

- 9/1~7 第7回東アジア太平洋人形劇フェスティバル
- 9/8~9 第17回レクリエーションと人形劇のカーニバル
- 9/26~29 人形劇トロッコ・ごうはだちいみょうじん 10:30~
- 9/30 人形劇トロッコ・ごうはだちいみょうじん 10:30~13:30~
- 10/3~6 人形劇ほげつと・花咲かじいさんほか 10:30~
- 10/7 人形劇ほげつと・花咲かじいさんほか 10:30~13:30~
- 10/8 人形劇ほげつと・花咲かじいさんほか 13:30~
- 10/10~12 人形芝居くりちゃん・ねればやまのちいさなじんじや 10:30~
- 10/13 人形芝居くりちゃん・ねればやまのちいさなじんじや 10:30~13:30~
- 10/14 人形芝居くりちゃん・ねればやまのちいさなじんじや 13:30~
- 10/17~20 茶間屋ショゴ・ゴリちゃんほか 10:30~
- 10/21 茶間屋ショゴ・ゴリちゃんほか 10:30~13:30~
- 10/24~26 糸あやつり人形劇団のむしぼくのバカほか 10:30~
- 10/27 糸あやつり人形劇団のむしぼくのバカほか 13:30~
- 11/3 糸あやつり人形劇団のむしぼくのバカほか 10:30~13:30~
- 10/29 糸あやつり人形劇団のむしぼくのバカほか 10:30~
- 11/3 人形一座ホケケヨ影絵芝居・アメ玉ほか 13:30~
- 11/4 人形一座ホケケヨ影絵芝居・アメ玉ほか 10:30~13:30~
- 11/10 讃州木偶塾・牛鬼 13:30~
- 11/11 讃州木偶塾・牛鬼 10:30~13:30~

豊浜町教育委員会 ☎(0875)52-1211

- 9/11 豊浜町活き活き健康講座 豊浜町文化会館 19:00~
- 9/22~24 第19回豊浜美術展 豊浜町文化会館 9:00~
- 9/22~10/12 第13回ふるさとギャラリー 豊浜町文化会館 9:00~
- 10/28 第45回とよはま文化祭(カラオケ) 豊浜町文化会館 12:30~
- 11/2~4 第45回とよはま文化祭(作品展他) 豊浜町文化会館 9:00~
- 11/11 第45回とよはま文化祭(芸能発表会) 豊浜町文化会館 13:00~

直島町文化協会 ☎(087)892-2882

- 11/3~4 直島町教育文化祭(3日お茶会) 直島町西部公民館 9:00~

長尾町教育委員会 ☎(0879)52-2935

- 10/27~28 長尾町文化祭 長尾小学校体育館 9:00~

仁尾町文化協会 ☎(0875)82-5109

- 9/22~24 仁尾八朔人形まつり 仁尾町内商店街 9:00~
- 9/22~24 仁尾八朔人形まつり協賛茶会 常徳院客殿
- 10/20 仁尾町民芸祭の夕べ 仁尾勤労者体育センター 18:30~
- 11/3~4 仁尾町総合文化展覧会 仁尾勤労者体育センター 9:00~

飯山町教育委員会 ☎(0877)98-7961

- 9/3~9/13 書道展 庁舎分館 8:30~
- 10/22~29 陶芸展 庁舎分館 8:30~
- 11/3~4 生涯学習フェスティバル 総合運動公園体育館 8:30~
- 11/17~25 書道展 庁舎分館 8:30~

引田町教育委員会 ☎(0879)33-2533

- 10/6~7 第39回東雲展 町民体育館 9:00~
- 9/5~10/8 「四国の火縄銃展」 歴史民俗資料館 8:30~
- 10/10~29 「刀剣展」(仮題) 歴史民俗資料館 8:30~

美翠Bisui ☎(0877)23-6350

- 11/23 香風のついで(志野流) オークラホテル丸亀 10:00~

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 ☎(0877)24-7755

- 7/28~9/16 猪熊弦一郎展 カチナホール・宇宙 10:00~
- 7/28~9/16 野尻仁佳展 10:00~
- 9/22~12/9 猪熊弦一郎・仕事展 10:00~
- 11/23 開館10周年記念日 観覧無料 10:00~

丸亀市教育委員会文化課 ☎(0877)24-8826

- 9/9 第48回丸亀市芸術祭主催公演「バレエ・フェスティバル」 丸亀市民会館 13:30~
- 丸亀文化祭「丸亀城蘇杭」丸亀城内芝生広場 17:30~
- 10/20~28 第48回丸亀市芸術祭主催展覧会(書・写真他) 丸亀市資料館 9:30~
- 10/20~28 第48回丸亀市芸術祭主催展覧会(日本画他) 生涯学習センター 9:00~
- 11/2~4 第48回丸亀市芸術祭主催展覧会(生花他) 生涯学習センター 9:00~
- 11/3 第48回丸亀市芸術祭主催行事(お茶会) 生涯学習センター 9:00~
- 11/3 丸亀文化祭「清水鏡児サクソフォンコンサート」 猪熊弦一郎現代美術館 19:00~
- 11/11 丸亀文化祭「香川ジュニアオーケストラフェスティバル★2001」 丸亀市民会館 13:30~
- 11/18 丸亀文化祭「子供の詩&ジョイフルコンサート★Ver.2」 猪熊弦一郎現代美術館 13:00~

丸亀市立資料館 ☎(0877)22-5366

- 9/29 講演会「弥生・古墳時代の塩飽諸島」他 13:30~
- 9/26 講演会「本島正覚院の仏教絵画」他 13:30~
- 10/20~11/18 「江戸から讃岐へ 金毘羅詣と丸亀湊」9:00~

丸亀市民会館 ☎(0877)23-4141

- 11/2 ハウスジャックスコンサート(ア・カペラ) 18:30~
- 11/18 丸亀蓬萊歌舞伎「松竹大歌舞伎」12:00~16:00~

まんのう公園管理センター ☎(0877)79-1700

- 9/15~10/14 国営讃岐まんのう公園コスモまつり 9:30~
- (10/6~8は、21:00までコンサート有り)
- 10/21~11/25 国営讃岐まんのう公園秋まつり 9:30~
- 10/13~14 元氣な建機！体験ランド 10:00~
- 10月下旬~11月上旬の土日 秋のハーブフェスタ 10:00~
- 8/1~10/19 第3回緑・花文化の知識認定試験(試験日11/18) 高明高等学校 14:00~

三木町教育委員会 ☎(087)891-3314

- 10/27~28 第31回三木町文化祭 三木町文化交流プラザ 9:00~
- 11/17 サネットふれあい大学2001 13:30~
- 「動く大地-長尾断層の活動による過去の地震」(長川修一)

三木町文化交流プラザ ☎(087)898-9222

- 9/2 第7回東アジア太平洋人形劇フェスティバル in三木 13:00~15:00~
- 9/30 南ファミリー劇団 山口英二郎公演 14:00~

山本町教育委員会 ☎(0875)63-1011

- 11/3~4 山本町文化展 山本町農村改善センター 9:00~
- 11/11 生涯学習文化講演会 午後

高松市教育委員会 文化部新市民会館整備課 ☎(0879)52-2935

- ◆新市民会館起工記念イベント
- 7/1~8/12 高松市市制111周年記念特別局 JARL香川クラブ

- 【実施済】
- 8/1~3/31 新市民会館のホームページ「たきにゃん工房」(www.takinyan.com/shiminkaikan/index.html)
- 8/12 Music Summit 香川大学軽音楽部 サンボート高松

- 【実施済】
- 8/25 ゆかた de ライブレオンと仲間たち サンボート高松

- 【実施済】
- 10/14 集まれ子まつり 特定非営利活動法人 サンボート高松

- 4国ブロックフリースクール研究会

- 3/2 市民会館これまでこれからまつり

- 四番丁小学校5年1組 高松市民会館

香川県有形民俗文化財・香川県無形民俗文化財

直島女文楽

10月14日(日)
第1回 13:00
第2回 15:00

江戸時代、直島は天領地であった関係で本町の南東に位置する本村という地区にある城山に大舞台があり、歌舞伎や芸能が盛んに行われていました。その頃、淡路の人形芝居（文楽）もたびたび来演したので島の人達はいつしか浄瑠璃人形つかいに深い関心を寄せ、人形を所有するようになったそうです。しかし、明治六年に阿波へ人形を買いに行った帰路、船が難破し五人中二人が死亡する不幸な出来事の原因となり、文楽熱が下火になったと伝えられています。

昭和二十三年に再び女性だけの愛好者により復興させ、翌年に敬老会で初公演を機に全国でも類をみないといわれる女性ばかりの直島女文楽が現在まで継承されてきました。



今回、座長の隅田美知子さんに晴松亭での上演をご相談申し上げたところ、快くお引受け下さいました。

日曜日の午後のひとときをお茶と文楽でゆっくりとお過ごし下さい。

■演目

一、寿三番叟

三番叟は能の翁を人形の舞台に移したもので、開場興行には欠かせぬ御祝儀曲となっており、神が我々の前に姿を見せるという神聖な意義をもった大曲とされている。

天下泰平五穀豊饒を祈って農民が三番叟の姿になり、「おさえ〜喜びありや〜わがこの所より他へはやらじとぞ思う」袖を振っての舞。

つづいて鈴を持って賑やかな曲に連れて軽快に踊り、やがて「治る御代ぞめでたけれ」と舞おさめる。

二、傾城阿波の鳴門 順礼歌の段

人形 女房おつる 順礼おつる

浄瑠璃作者中興の名作者として有名な近松半二の作だが、巡礼お鶴とその母との偶然の対面、而も残酷にも、運命の行き違いから、父十郎兵衛の為にこの可憐な娘が殺される悲劇は、昔から日本的情藻を絶える湛えた秘話哀話として親しまれる。

財団学術文化振興特別助成事業

あ・うんの数寄講座

（第三期）
日本文化のエッセンスを
探る連続セミナー

（第三期）

主催 アトリEASASU
企画・構成 齋藤 裕

■平成十三年九月二十二日(土) 午後一時

(午後十二時三十分開場)

前半「利休の孫・千宗旦―その人と歴史の流れ―」
後半「日本人の美意識―わび・さび・数寄とは―」

途中休憩あり(午後四時三十分頃終了)
講師/久田宗也(表千家 不審菴理事)

熊倉功夫(国立民族学博物館教授・文学博士)
会場/香川県県民ホール内 アクトホール

平成十年度、第一回の永六輔氏より始まった本講座も、三年目を迎えます。今期は、通算第七回目の講座となりますが、久田宗匠と熊倉先生の対談をお送り致します。

編集後記

先号の表紙を飾られた安西光陽先生。「お花は友達」を常に口にされ、他を思いやる優しさに充ち溢れた人生の達人ともいえる人であった。

長寿時代に突入した現代とはいえ、矍鑠として百六歳に達するまで茶華道に精進され多くの後輩を導かれたその姿は、凜としていたとも思えた。

同じ号に、本県とゆかりの深い東山画伯のことが載っていた。あの画風をこよなく愛する人も多いが、それにも増して画伯の人柄を尊敬する人が多いとも言われた。

穏やかで淡々と、それでいて画業に精魂を傾注され、日本人の心と、日本の美しさを象徴するような、多くの作品を遺された。この方も長寿であった。

九十一歳のその日まで、懸命に励まれたという。

いっぽう古来から名僧高僧と讃えられた方にも、長寿の人が非常に多いことに気づく。

そのことをある僧職にいる人に聞いたことがある。

「それは線香の香りのなかに長生きさせる秘密があるのですよ」と、半ば冗談めかして言われたのを聞いたことがある。

茶華道家、芸術家、宗教家として道を極めた方々には、共通点はないかみえるがともに、類い稀なほどの長寿を保たれるというのは何に基因するのだろうか。

いえることは、いずれの人達もなべて穏やかな心と、懸命に生きようとするひたむきさを持ち合わせているのでなろうか。

すぐれた先人に、学ぶことは多い。

「声・情報お寄せください」
〒760-0017 高松市番町二丁目一十二
財団学術文化振興財団編集部
TEL(087) 826-3377
TEL(087) 826-3355
FAX(087) 826-2212